

「猪子町内会の皆さんと町長との語る会」記録 (H27. 11. 16) 参加者 男性 12 人

質問事項等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
<p>①川の水害防止対策について、水の流れをよくし水位の上昇を抑えるための整備を行っていると思うが、現在の赤川の状況について教えてください。</p> <p>②子育て支援について新しく取り組むことがあれば教えてほしい。</p> <p>③町として、男女の出会いの場づくりを年に数回でも行ってはどうか。また、個人で仲人をした方には報酬はあるか。</p> <p>④語る会などの広聴活動の結果などの情報は町民に共有されているか。</p>	<p>「町長」</p> <p>①赤川の河道掘削は成田新田から始まりましたが、始める時に川の生き物などの愛護団体から掘削工事についての意見があり、単に川幅を広げるだけでなく淡水魚や鳥が生息できるように工事をしてほしいとの要望があった。そのため、一部が段階的に切り下げられている箇所があり、その土が削られて川の中に堆積してしまっているようです。ただ、今のところ国交省からはそこが川の流れを阻害する要因になるとの話は聞いていません。上流の水位が下がればおのずと下流の水の流れも海へと流れていくのではと考えています。</p> <p>②町ではこれまでも出産祝い金や幼稚園の基本保育料無料といった政策はしてきましたが、今年度、保護者からの要望もあり第1子が小学校を卒業するまで第3子の保育料を無料としました。これからも子育て支援には力を入れていきたいと思えます。</p> <p>③先週も他市町と合同で婚活パーティーを開催しましたが、参加した14組中4組のカップルが成立し、出会いのきっかけづくりにできたようです。これからも町で出会いの場をつくるこ</p>	<p>①建設環境課</p> <p>②教育委員会・健康福祉課</p> <p>③企画調整課</p> <p>④企画調整課</p>	<p>① 赤川中流部の河道掘削事業は平成30年代の完成をめざし下流から順次掘削を進めています。現在の進捗率は約75%で平成27年度は青山地区と湯野沢地区の掘削工事を実施しています。</p> <p>国土交通省酒田河川国道事務所では、河道掘削の完了している押切地点で水位を約1.3m低減する効果があったと推測しているそうです。</p> <p>②さらに、「出産祝金」について、第2番目の子どもの出産祝金の金額を増額することになりました。</p> <p>③・④左記の回答のとおりです。</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>とはしていきたいです。</p> <p>④町で会議録を作成し、町内会へお渡ししており、また、一旦持ち帰った課題についても回答と一緒にお渡ししています。全体に関わるようなことは広報に掲載してお知らせしていますが、町内会などの個別なものに関しては出席者への報告を行うことにしています。</p> <p>「副町長」</p> <p>現在は仲人への謝礼はありません。以前、農業委員会でそのような事業がありましたが、成果が上がらないためやめた経緯があります。</p>		
<p>猪子町内会に所属していない大堰端地域から町に要望や苦情などはきていないか。猪子町内会にも特に要望なども無いのでどのように地域を維持しているのかと思います。町として大堰端をどのように考えているのか、そして町で町内会加入を働きかけてほしい。</p>	<p>「町長」</p> <p>住宅地開発によってできた住宅街は前例をみても近隣の町内会と関わるが多くなると思う。個々が優先される時代ではあると思うが、町内会との関わりをもたずに生活してよいのかという課題は今も残っていると思います。周りから干渉されたくないといういわゆる都市型の方々が町内に増えていくことを考えると、今後は住宅地開発のあり方を根本から考えてなければいけないと思います。</p> <p>「副町長」</p> <p>土地開発公社が分譲する場合は、分譲する際</p>	<p>企画調整課</p>	<p>左記の回答のとおりです。</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>に町内会の加入を事前に話し合ってから分譲するが、民間開発の住宅地だと町内会にストレートに加入するということにどうしても抵抗が生じるかもしれません。ただ、横山のニュータウンの例をみると、子どもがいて育成会や子ども会の活動を通してコミュニティに参加するようになり、町内会に加入していくという流れが一番よいのかなと思います。</p> <p>町で支援できることはしますし、町内会と大堰端との間に入ることはできるのですが、なかなか行政から指示することはできないと思う。町内会でも話し合ってください、町への要望は企画調整課へお願いします。</p> <p>「企画調整課長」</p> <p>神花ニュータウンの取り組みを紹介しますと、町内会加入を促進するために町内会費を安くしたり、運動会などさまざまな機会を捉えて育成会などの役員がとにかく働きかけをしたりしたようです。</p>		
<p>①これからの長寿社会に向けて、健康増進や住民同士の交流、地域を知ることを目的に、3年間かけて町内を見て回るウォーキングイベントをしてほしい。</p>	<p>「町長」</p> <p>町では常に行財政改革を頭においており、毎年事業や業務の見直しを行っています。</p> <p>①について、町民が町を知る機会が少ないというのはその通りだと思いますので、どのよう</p>	<p>① 健康福祉課・教育委員会</p> <p>② 企画調整課</p> <p>③ 建設環境課</p>	<p>①・②左記の回答のとおりです。</p> <p>③ごみの減量化については、資源とごみとの分別徹底(町内会資源回収・リサイクルステーション・資源ポスト・巡回資源回収の利用促進)</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
<p>②町の情報発信をもっとインターネットを駆使した形で進めてはどうか。</p> <p>③ごみの減量化について町で目標を立てたようだが、そのために具体的な方策をたてた方が良いと思います。</p> <p>④町の広報紙について、必要なことだけを掲載し、よりコンパクトにまとめた方がよいのではないかと思います。</p>	<p>な形になるかわからないが担当の部署にそのような機会を設けるよう伝えたい。現在は、個々が優先される時代にはなっているが三川町も掲げている「協働のまち」という言葉が町の実情と違う状態だったということがないようにしていきたい。</p> <p>②について、現代のネット社会を考えると、そろそろインターネット中心の発信について重点的に取り組んでもよいと考えてはいるが、紙媒体でのお知らせを減らしたときに「町から情報が提供されなかった」となると困ってしまうので、やはりインターネットでの情報発信についてはこれから十分検討していきたい。</p> <p>③について、住民の方々はもちろん、町内会からもクリーン推進員 2 名の方からごみの減量化にご協力をいただいています。三川町は、人口は減っているが世帯が増えていることから人口 1 人あたりのごみの量はあまり変化がないが、世帯あたりのごみの量は増えています。具体的な数値の目標をたてることは重要だと思います。</p> <p>「副町長」</p> <p>④について、どうしても個人の価値観もバラバラになっている現在、広報に掲載するかしないかの選択は難しくなっています。表紙の写真</p>	<p>④企画調整課</p>	<p>や生ごみの水切りの徹底など、具体的な方策を示しながらごみ減量化のお願いをしているところです。</p> <p>実際には、ごみの減量化は住民の皆さんに協力をいただかないと実現できません。今後ごみ減量化について協力をいただけるよう具体的な数値目標を示すとともに、広報活動を強化してまいります。</p> <p>④左記の回答のとおりです。</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
	<p>なども親しみやすさを考え、住民の顔を掲載するようにしていますし、近隣の市町村もそのような傾向にあります。</p> <p>また、今年度は公式ホームページのリニューアルや子育て支援サイトの新設を予定しています。当面は今までどおり文書でのお知らせとインターネット発信の2本立てがよいのかと思います。</p>		
<p>①ごみ処理について、プラスチックとペットボトルはどのように処理されているのか教えてほしい。</p> <p>②サロン事業について、当初は町で始めて何年か経った後、今では各町内会に運営を任せていると聞きました。なぜ予算が削られてしまったのか聞きたいです。</p> <p>③納涼祭について、町で予算をつけて開催することは考えていませんか。</p>	<p>「企画調整課長」</p> <p>①ペットボトルに関してはリサイクルするために細断し固形化する、プラスチックは圧縮し溶かす必要があります。どちらも加工するのは県外の業者が行っていますが、住民から集めたペットボトルやプラスチックを業者に売却するのは鶴岡市が行っています。住民の方々に分別をお願いしているのは、この業者に売却する際により状態のものだと高く買ってもらえるためです。</p> <p>「町長」</p> <p>②なかなか参加者が年々減る一方なので、予算も減ってきています。担当が社会福祉協議会なので、助成金の額については伝えておきます。</p> <p>③今年の納涼祭はとても盛況だったので、来年度は協力していきたいと思います。</p>	<p>①建設環境課 ②社会福祉協議会 ③産業振興課</p>	<p>①ペットボトルとプラスチック製容器包装類はそれぞれ分別回収し、鶴岡市のリサイクルプラザに搬入します。リサイクルプラザでは破砕機でごみ袋を取り除きその後手作業により異物除去を行った後圧縮梱包し業者に売却しています。買取り業者は、ペットボトルやプラスチック製容器包装類を細断や固形化などを行い、リサイクル製品の原料やリサイクル商品として販売しています。</p> <p>今後も、どのようにごみがリサイクルされているか等、町の広報紙やホームページで紹介していきます。</p> <p>②サロン事業は、今年度9町内会で実施していただいております。助成金を交付しております。</p> <p>この事業は町の介護保険事業の地域支援事業の一つとして社会福祉協議会が委託を受け、</p>

質 問 事 項 等	答 弁 等	対応課等	各課の対応
			<p>運営しております。</p> <p>サロン実施当初は各種の準備等が必要なことから、3年間は1ヶ所5万円を助成しております。4年目以降は、サロンの規模に応じて2万円あるいは3万円の助成を行っているところです。</p> <p>③左記の回答のとおりです。</p>
<p>アパートも増えてきたし、町内会のごみの集積所を増やすことはできますか。</p>	<p>「町長」</p> <p>ごみの集積所は町内会で場所や数を決めてもらっています。また、集積所を増やすとなると収集車や雇用に費用もかかるので簡単には増やせません。町と町内会とで十分話し合ってからということになります。</p>	<p>建設環境課</p>	<p>町内会と十分話し合いを行い、集積場所を増やすかどうかを決定していきます。</p>